

R8CおよびM16Cファミリ用Cコンパイラパッケージご使用上のお 願い --リアルタイムOSを使用したプロジェクトのビルドについて--

R8CおよびM16Cファミリ用Cコンパイラパッケージの使用上の注意事項を連絡します。

- リアルタイムOSを使用したプロジェクトをビルドする場合の注意

1. 該当製品

- R32Cシリーズ用Cコンパイラパッケージ V.1.02 Release 01
- M32Cシリーズ用Cコンパイラパッケージ V.5.42 Release 00
- M16Cシリーズ, R8Cファミリ用Cコンパイラパッケージ V.5.45 Release 01

補足 : 「R8C, M16Cファミリ用Cコンパイラパッケージ 2010.04」には上記の
3製品が入っています。

2. 内容

統合開発環境High-performance Embedded Workshopで、リアルタイムOSを使用したプロジェクトを作成してビルドを実行すると、コンフィギュレーションファイル (cfgファイル) を変更していない場合でもコンフィギュレータが実行されます。

対象になるOSは以下のとおりです。

- R32Cシリーズ用リアルタイムOS M3T-MR100/4
- M32Cシリーズ用リアルタイムOS M3T-MR308/4 および M3T-MR308
- M16Cシリーズ, R8Cファミリ用リアルタイムOS M3T-MR30/4および M3T-MR30
- R8Cファミリ用リアルタイムOS MR8C/4

なお、High-performance Embedded Workshopのみをアップデートしても問題は解消されません。

3. 回避策

コンフィギュレーションファイルを変更していない場合は、以下の手順でビルド実行の対象からコンフィギュレータをはずしてください。

- (1) メニュー「ビルド」->「ビルドフェーズ」をクリックして、ビルドフェーズダイアログボックスを開く。
- (2) ビルド順序タブをクリックする。
- (3) 「ビルドフェーズの順序リスト」の「*** Configurator」のチェックボックスからチェックをはずす。
注: *** は使用するリアルタイムOSによって異なります。
- (4) OKボタンをクリックする。

注: コンフィギュレーションファイルを変更した場合は、必ず「*** Configurator」のチェックボックスにチェックをつけなおしてからビルドを実行してください。

4. 該当バージョンでの解決策

本問題を回避するパッチプログラムの提供を予定しています。
提供方法および時期は、ツールニュースで連絡します。

(2010年7月5日追加)

RENESAS TOOL NEWS 資料番号 100701/tn2 を参照ください。

<https://www.renesas.com/search/keyword-search.html#genre=document&q=100701tn2>

5. 恒久対策

コンパイラパッケージの次期バージョンで改修する予定です。

[免責事項]

過去のニュース内容は発行当時の情報をもとにしており、現時点では変更された情報や無効な情報が含まれている場合があります。ニュース本文中のURLを予告なしに変更または中止することがありますので、あらかじめご承知ください。